1　国語

学校番号	3020

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　古典Ｂ　古文編・漢文編」（数研出版）						
副教材等	「プログレス【読解・構図・鑑賞】古文総演習発展編」（いいずな出版） 「体系漢文法演習」（数研出版） 「理解を深める　核心古文単語３５１」（尚文出版） 「体系古典文法　八訂版」（数研出版） 「精選漢文」（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ

・古典の世界はとても豊饒な世界です。そこには遠い昔の作品でありながらも同じ日本語によって表現された世界が広がっています。その世界を知ろうとした瞬間に私たちは時間を飛び越え、そこに暮らした多くの人々の文化や生活、そして意識を、厚みを持って感じることができます。古典の世界に親しむこと。それは現在の自分を大きく成長させる糧なのです。
・古典を正しく理解するためには語彙や文法の知識も疎かにはできません。１年時の基礎知識をしっかりと定着させるとともに、新たな知識にも取り組んでいってください。
・学習の基本は授業です。その授業を活かすためには予習や復習が必要です。そうした時間を自分で作り、主体的な姿勢を養いつつ日々の研鑽を積んでいってください。

2 学習の到達目標

・古典を読んで思想や感情を的確にとらえ、作品の価値について考察することができる。
・伝統的な言語文化に対して広くかつ深い関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・古典に親しむことによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにすることができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	古文編第一章 説話・歌物語	教材: 『沙石集』 兼盛と忠見 『伊勢物語』 「通ひ路の関守」	○			◎	○	a:歌物語における文と和歌との関係を理解しながら、登場人物の関係を把握している。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:当時の和歌に対する考え方や歌物語における和歌の修辞、語句の使い方などについて理解している。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:記述の確認 定期考査
	古文編第一章・第二章 随筆	教材: 『枕草子』 「すさまじきもの」 教材: 『枕草子』 「二月つごもりごろに」	○			◎	○	a:場面や登場人物の関係性などを把握しながら、文を読もうとしている。 d:句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりや古文常識を身に付けている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査 小テスト
	漢文編第一章 故事・二章 小説	教材: 『搜神記』 「売鬼」 『世説新語』 「華歆・王朗」	○			◎	○	a:中国文学における怪異小説・中国の故事の面白さを味わおうとしている。 d:漢文のリズムに慣れ親しみつつ、文意を的確につかもうと読み進めている。 e:漢文の句法や語法の基本を整理して身につけようとしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の観察
	漢文編第二章 史伝	教材: 『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」 「項王自刎」	○			◎	○	a:史伝のダイナミックな語りを味わいながら読み進めている。 d:漢文のリズムや表現を味わいながら、人物の心情を理解し、考えを深めている。 e:漢文の句法や語法の知識をもとに、司馬遷の文体の特徴を理解しようとしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の観察 定期考査

2学期	古文編第一章 歴史物語	教材: 『大鏡』 「花山天皇の出家」 「道長の剛胆」	○			◎	○	a:歴史物語の構成や展開を確かめ、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。また、日記文学での筆者の語りの特徴を理解しようとしている。 d:歴史物語の構成や展開を確かめ、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。また、日記文学での文体の特徴を理解しつつ読み解いている。 e:読むことに必要な語句の意味や敬語の用法について理解している。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査 小テスト
	古文編第一章 日記	教材: 『更級日記』 「東路の道の果て」 「物語」							
	古文編第二章 日記	教材: 『蜻蛉日記』 「うつろひたる菊」	○			◎	○	a:日記文学に描かれている生活や習慣を理解しつつ読み解いている。 d:日記文学に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、筆者の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査 小テスト
	古文編第一章 物語	教材: 『源氏物語』 「光源氏誕生」	○			◎	◎	a:長編物語の冒頭を読み、今後の展開の伏線となる背景や要因を探ることができる。 d: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように書いているのかを捉え、それが効果的に表現されているかどうかを考察している。 e：豊富に登場する古文の重要単語や重要表現を理解している。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:定期考査 小テスト
	漢文編第一章 文章・漢詩	教材: 「春夜宴桃李園序」 李白 漢詩 「鹿柴」王維 「山中対酌」李白 「旅夜書懐」杜甫 「寄李儋・元錫」韋応物	○			◎	○	a:漢文の様々な文章や漢詩を読み解き、豊かな漢文のリズムを味わおうとしている。 d:漢文の基本的な文章の読解に加え、四六駢儷体などの独特な文章の読解にも知識を応用させて読み進むことができる。 e:漢文のいろいろな側面を知ることで、今まで身につけた知識の応用と新しい知識の獲得をめざす。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の観察 定期考査

3学期	古文編第一章　物語・軍記物語	教材: 『源氏物語』 「小柴垣のもと」 『平家物語』 「壇ノ浦」	○			◎	◎	a:長編物語の展開をしっかりと把握し、その必然性や、また偶然性について、味わおうとしている。また、短い説話を的確に理解しようとしている。 d:複雑な文章構成を読み解きながら、人物関係を的確に把握して読み進めることができる。 e:語句の用法や表記の仕方を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 記述の点検 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の観察 記述の確認
	漢文編第一章　思想	教材: 『孟子』 「不忍人之心」 『荀子』 「性悪」 『老子』 「小国寡民」 『荘子』 「曳尾於塗中」	○			◎	○	a:中国の思想を通して、自らの生き方について深く考え、人生を豊かにする態度を育もうとしている。 d:思想の文章における論理展開を把握して読もうとしている。 e:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析 定期考査 e:行動の観察 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。